

2023年3月より

英語館

は

研伸館

の一部になります。

研伸館中学生課程グローバルコースと海外大進学を目指す高校生対象の新コースという形でこれまでのサービスを堅持・拡大していく方向性です。今後にご期待ください。

2023年度 研伸館 開講講座一覧 ※グローバル系講座のみ掲載

研伸館中学生課程：講座ラインナップ

	対象目安	時間	価格(税込)
グローバル選抜G ⁺ I：1年間で英検準2級レベルを目指す	英検3～	170分/週	¥20,900
グローバル選抜G ⁺ II：1年間で英検2級レベルを目指す	英検準2～	170分/週	¥20,900
グローバル選抜G ⁺ III：1年間で英検準1級レベルを目指す	英検2～	170分/週	¥20,900
G I Conversation: アカデミック英会話 (Lv. 1) と同講座	英検3～	90分/週	¥15,400 ※
G II Conversation: アカデミック英会話 (Lv. 2) と同講座	英検準2～	90分/週	¥15,400 ※
G III Conversation: アカデミック英会話 (Lv. 3) と同講座	英検2～	90分/週	¥15,400 ※

研伸館高校生課程：講座ラインナップ

	対象目安	時間	価格(税込)
海外大進学講座 (0) TOEFL初級: TOEFL60を目指す	英検2～	180分/週	¥31,900
海外大進学講座 (I) TOEFL中級: TOEFL80を目指す	英検準1～	180分/週	¥31,900
海外大進学講座 (II) TOEFL上級: TOEFL100を目指す	TOEFL80	180分/週	¥31,900
海外大進学講座 (III) SAT&エッセイ: SAT(英)720を目指す	TOEFL100(180分/週	¥31,900
アカデミック英会話 (Lv. 1) : 会話を通じて英語力UP	英検3～	90分/週	¥17,600 ※
アカデミック英会話 (Lv. 2) : 会話を通じて英語力UP	英検準2～	90分/週	¥17,600 ※
アカデミック英会話 (Lv. 3) : 会話を通じて英語力UP	英検2～	90分/週	¥17,600 ※
アカデミック英会話W (Lv. 4) : 議論を通じて英語力UP	英検準1～	180分/週	¥31,900
アカデミック英会話W (Lv. 5) : 議論を通じて英語力UP	TOEFL80	180分/週	¥31,900

※「G Conversation」は「アカデミック英会話」と同じ講座ですが、中学生が受講する際に割引価格を適用する関係で、講座名を分けています。

★以上の他に、個別指導や添削指導のラインナップもございます。詳細はお問い合わせください。

担当外国人講師について

100名を超える志願者の中から厳しい選抜プロセスと長期間に及ぶトレーニングを経て、講座担当を許可された**Route H認定の講師**が授業を担当します。常勤の社員なので授業内容はもちろんのこと、受講生ひとりひとりの成績状況にも気を配っています。他にも数名の認定講師が在籍しています。



Wihardja Gita

ウィハルジャ・ギタ

生化学の修士号を持つ理系講師。TOEFLとSATの英語パートはもちろん、SATの数学パートも指導可能。非常に丁寧な添削と合理的で科学的な読解法が彼女の人気の秘訣。



Cagang Rosellini

カガン・ロセリーニ

日本人への指導経験が豊富で確実に成績アップを実現する指導手腕は圧巻。専門は国際政治学。ディベートを得意とする。彼が担当するアカデミック英会話の上位クラスは必聴。

2月末日までは英語館にてお問い合わせをお受けします。

英語館 西宮北口校

受付時間 月～土：13:00～21:30 (金曜定休)
日：9:00～17:00

TEL 0798-65-3340

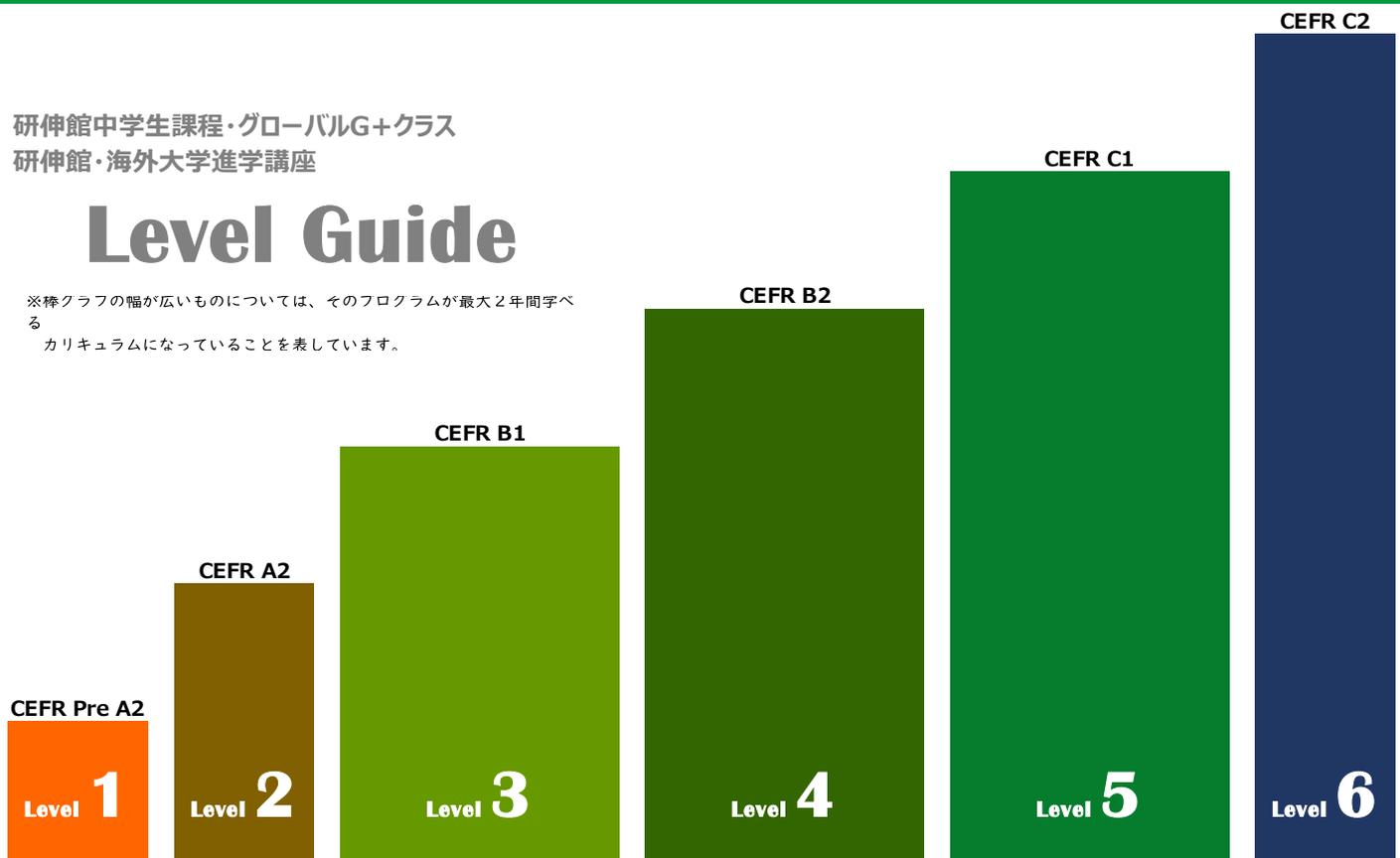
上記の電話番号は、2月までは**英語館西宮北口校**に、3月以降は**研伸館西宮校**の担当デスクにつながります。

クラスのレベル設定

研伸館中学生課程・グローバルG+クラス
研伸館・海外大学進学講座

Level Guide

※棒グラフの幅が広いものについては、そのプログラムが最大2年間字べるカリキュラムになっていることを表しています。



中学生課程 (170分×月3)			海外大学進学講座 (180分×月3+進路カウンセリング)			
←-----日本人(LR)と外国人(SW)のチームティーチング----->			←-----授業は外国人講師によるオール・イン・イングリッシュ (※カウンセリングは主に日本人が実施) ----->			
G⁺ I	G⁺ II	G⁺ III	(0)	(I)	(II)	(III)
英検 3級~	英検準 2級~	英検 2級~		英検準 1級~	TOEFL 80~	TOEFL 100~

※レベル認定には英検やTOEFLに限らず、次ページに記載している全ての検定の結果が利用できます。

使用教材

研伸館中学生課程・グローバルG+クラス、研伸館・海外大学進学講座では、教材は市販の洋書を使用しますので、教材は**各自でご購入し、授業に持参する**という形にしております。(様々なバージョンがあってややこしいので、初回の授業の際に改めて書面にてご案内します。購入はその後にお願いいたします。)

Level 1: Basic Skills for the TOEFL iBT 1 Reading Book / Listening Book
Compass Publishing

Level 2: Basic Skills for the TOEFL iBT 3 Reading Book / Listening Book
Compass Publishing

Level 3: Building Skills for the TOEFL iBT 2nd Edition / Combined Book
Compass Publishing

Level 4: Developing Skills for the TOEFL iBT 2nd Edition / Combined Book
Compass Publishing

Level 5: Mastering Skills for the TOEFL iBT 2nd Edition / Combined Book
Compass Publishing

Level 6: The Official SAT Study Guide 8 Real SATs
CollegeBoard



クラス認定用対照表

研伸館中学生課程 ・グローバル選抜G+ ・G Conversation	研伸館判定 中1 選抜S+ ▶▶▶	G+ I	研伸館判定 中2 トップS+ ▶▶▶	G+ II	研伸館判定 中3 トップS+ ▶▶▶	G+ III	
	中1 選抜S ▶▶▶	G I <C>	中2 トップS ▶▶▶	G II <C>	中3 トップS ▶▶▶	G III <C>	
研伸館 ・海外大学進学講座 ・アカデミック英会話				海外大学 進学講座 (0)	海外大学 進学講座 (I)	海外大学 進学講座 (II)	海外大学 進学講座 (III)
		A英会話 (Lv. 1)	A英会話 (Lv. 2)	A英会話 (Lv. 3)	A英会話W (Lv. 4)	A英会話W (Lv. 5)	
	↑ 資格判定		↑ 資格判定	↑ 資格判定	↑ 資格判定	↑ 資格判定	↑ 資格判定

認定英語資格	Pre A1	A1	A2	B1	B2	Pre C1	C1
実用英語技能検定 (英検)		3級合格	準2級合格	2級合格	準1級合格	1級合格	
GTEC (Core/Basic/Advanced/CBT)		270 689	690 959	960 1189	1190 1279	1280 1349	1350 1400
TOEFL iBT				42 59	60 79	80 99	100 120
TOEFL ITP Level 1		310 336	337 437	440 497	500 547	550 597	600 677
TOEFL ITP Level 2	200 309	310 336	337 437	440 500			
TOEFL Junior Standard		600 644	645 744	745 849	850 900		
TOEFL Primary Step 2	200 203	204 211	212 226	227 230			
TOEFL Primary Step 1	200 203	204 211	212 218				
TOEFL Junior Speaking	0 4	5 7	8 10	11 13	14 16		
TOEFL Primary Speaking	0 9	10 15	16 21	22 25	26 27		
ケンブリッジ英語検定		100 119	120 139	140 159	160 169	170 179	180 199
IELTS				4.0	5.5	6.0	7.0
TOEIC LR		120 220	225 545	550 760	765 855	860 940	945 990
TOEIC SW		80 150	160 230	240 300	310 330	340 350	360 400
TOEIC Bridge		30 44	45 84	85 100			
duolingo english test		10 60	65 75	80 90	95 100	110 125	130 160
VERSANT	20 25	26 35	36 46	47 57	58 68	69 78	79 80
CASEC		150 250	300 550	600 700	750 750	800 850	900 1000

*1: グローバル選抜クラスは研伸館の選抜試験もしくは英語の各種資格試験の結果のいずれかに基づき受講認定します。但し学年を超えた「飛び級」認定は資格試験の結果のみで行います。

*2: G Conversation I / II / IIIは、中学生がアカデミック英会話Lv. 1～3を取得する際の呼称です。中学生用の特別割引学費を設定しています。

*3: A英会話とは「アカデミック英会話」の略です。英語レベルを満たせば中学生も高校生もLv.1～5の全てのクラスから選択できます。Wは授業時間が3時間/週であることを表します。

*4: 英検についてはあくまで合格級のみを考慮するものとし、cseスコアによる認定はいたしません。従来型でもCBTでも構いませんが、従来型の1次合格を合格とはみなしません。

*5: GTECはCore/Basic/Advanced/CBTの4種類のみを対象としています。GTEC Juniorは認定対象外ですのでご注意ください。

*6: TOEFL iBTとITP(Level 1)については、受験者の得点動向に関する独自分析の結果を踏まえ、B2の下限とPre C1の上限をそれぞれ実際より広めに設定しています。

*7: TOEFL JuniorとPrimaryのスピーキングテストではG <Conversation>クラス、およびアカデミック英会話クラスの判定のみを出します。

*7: いずれ級・スコアについても、取得時期の縛りは設けていませんが、プランクがあって授業についていくのが難しそうな場合、一つ下のクラスをご提案することがあります。

アカデミック英会話とは？

日常的な話題でおしゃべりをしたり、ハンバーガーショップや空港の手荷物受取所のロールプレイをしたり…「英会話」と聞くと、そういうイメージを持つ人が多いと思います。我々が目指しているのは、それとは全然異なるので、「アカデミック」という言葉を頭につけました。研伸館のアカデミック英会話では、英文や音声、ビデオなどの素材を用いながら、**現在の世界が抱えている諸問題を英語で学び**、それについて各自が**自分なりの解決策**を考え出し、クラスメイトと**ディスカッションを通じて学びを深め**ていくという活動です。Lv.1～3までは、主に

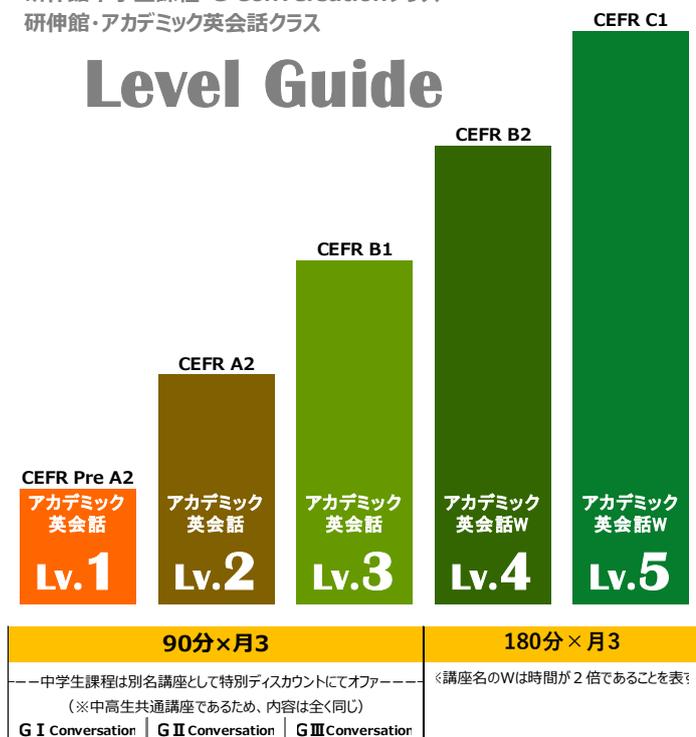
ネイティブの先生がファシリテーターとして、色々な問いを発し、生徒がその問いに答えていくというやり取りが中心になりますが、Lv.4以降は生徒たちが主体的に議論を回せるように指導していきます。また、パブリックスピーチやスライドを使ったプレゼンテーションなどの技術についても指導します。これが**グローバル・**

スタンダードな英語の学びです。将来、海外の大学で学びたいという夢を持つ人はもちろん、日頃、文法訳読式の受験英語に浸りきっている人にもリスニング対策を兼ねて、受講してもらいたい講座です。

レベル別で中学1年生から高校3年生（浪人生や大学生も可）まで幅広く学んでもらえる講座になっています。中学生がLv.1～3の講座を取得する場合には、特別ディスカウントがありますので、比較的時間に余裕がある中学生のうちに英語力をブーストさせるべく、頑張ってみてください。（価格が異なるため、講座名が分かれますが、同じクラスになります。）

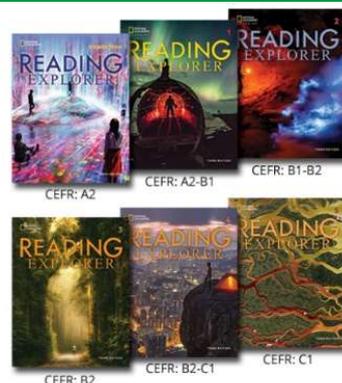
研伸館中学生課程・G Conversationクラス
研伸館・アカデミック英会話クラス

Level Guide



使用教材

アカデミック英会話の授業にはナショナルジオグラフィック社のReading Explorerシリーズのテキストを使用します。こちらは一応市販の教材ですが、入手がやや困難なので、研伸館で一括して購入します。（各自での購入の必要はありません。）

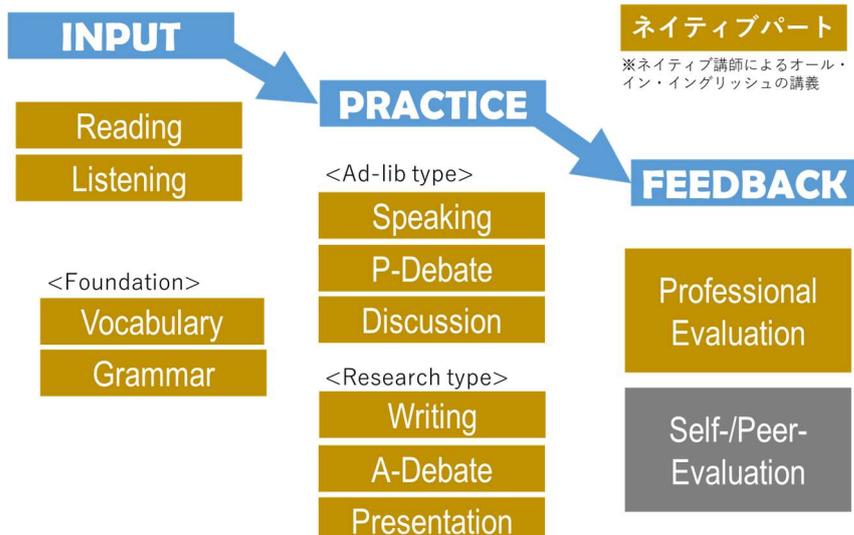


講座名

使用教材

- アカデミック英会話Lv.1 (=G I Conversation) ⇒Book 1 (A2-B1)
- アカデミック英会話Lv.2 (=G II Conversation) ⇒Book 2 (B1-B2)
- アカデミック英会話Lv.3 (=G III Conversation) ⇒Book 3 (B2)
- アカデミック英会話WLv.4 ⇒Book 4 (B2-C1)
- アカデミック英会話WLv.5 ⇒Book 5 (C1)

毎回の授業の流れについて



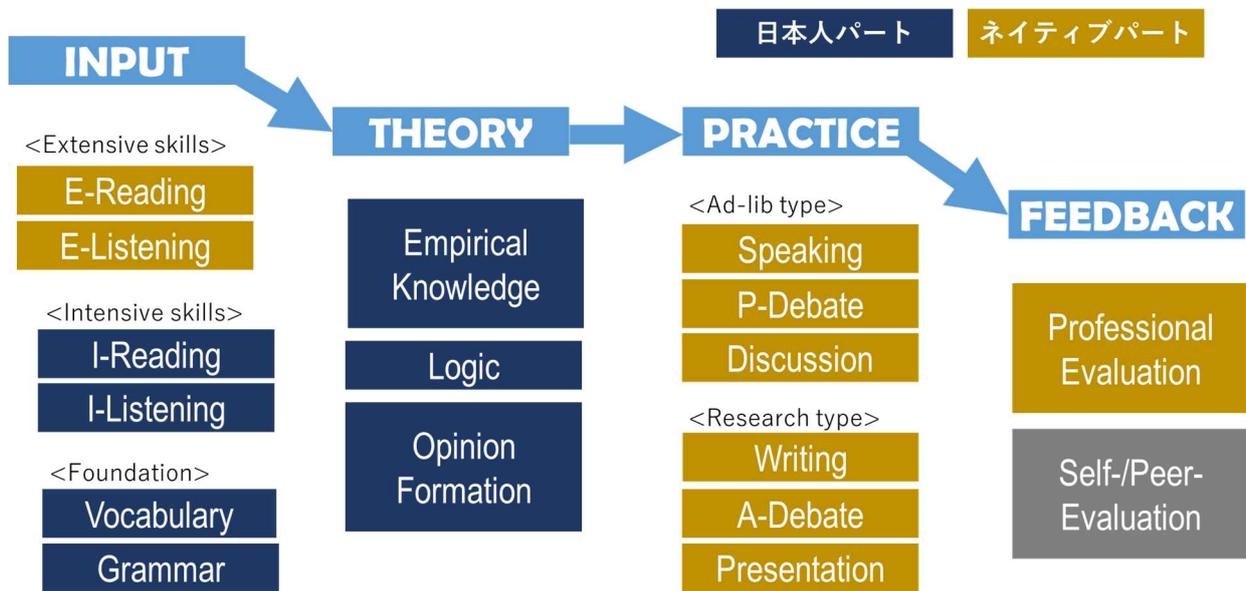
授業はネイティブスピーカーがオール・イン・イングリッシュで実施します。「英会話」とは言いながらも**Reading・Listening・Writingの指導**も実施しますし、必要に応じて文法や語彙の説明も行います。P-Debateとは即興タイプの討論である「パーラメンタリー・ディベート」、A-Debateとはリサーチを前提とした「アカデミック・ディベート」の略称です。3回の授業で、左記の全てのアクティビティーを行い、翌月はテーマを変えて同じフレームを繰り返していくことで、**現代の世界が抱える問題についての幅広い知識**と、**議論の作法**を身につけてもらえるように設計されています。

英語を絶対的な強みにしたい中学生諸君、および保護者の方々へ

幼少のころから本格的に英語をやってきたのに、中学生になって初めからやり直している人、多いのではないのでしょうか。これまで雰囲気やっていたものに理論的な後ろ盾ができてきているのであれば、それはそれで大いに価値があることですが、周りよりも自分の方が進んでいて余裕があるのをいいことに、**楽をしていませんか？**周りと同じペースでゆっくりやっているうちに、気づけばアドバンテージはすっかり消えて並の受験生という例は枚挙にいとまがありません。せっかくロケットスタートを切ったのならば、そのペースでどんどん学年を越えてやっていきましょう。大学受験がまだまだ現実感がない遠い未来だからこそ、受験に直接関係する、しないに関わらず、**純粋に自分のキャバを広げることに注力**できるはず！進路が国内になっても、海外になっても、英語が絶対的な強みであることにはメリットしかありません。グローバル・スタンダードの英語力、目指してみませんか？

穏健なグローバル・スタンダード

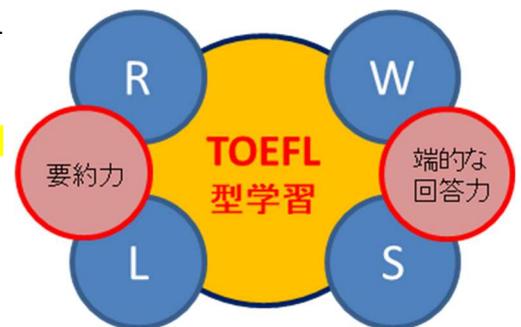
グローバルという価値には賛同するものの、それが日本の大学受験とあまりにかけ離れてしまうならば、それはそれで不安というのが皆さんの本音ではないかと思えます。研伸館中学生課程のグローバルG+クラスは「**穏健なグローバル・スタンダード**」を目指します。従来型の受験英語のあり方に根本的なアンチテーゼを唱えるのではなく、両方の価値をうまく両立させつつ、指導を行います。そのため、授業の半分は日本の大学受験、海外の大学受験の双方を熟知した日本人講師が担当し、**進学先が国内になろうとも、海外になろうとも、いずれにしても必要となる英語力の礎**を築きます。



ネイティブのパートについては、前頁で触れたアカデミック英会話とほとんど同じなので、そちらを参照いただくとして、ここでは青色の日本人パートに注目してください。RとLの分野においては、**同じ英文をネイティブはざっくりと、日本人は精密に扱うことで、2つの目線のバランスを養います。**そして、2列目のTheoryパート。これは、学んだことを記憶に残すための**ノートテイキングの技術**、**「自分の意見」を形成するための論理トレーニング**などを、日本人講師が基礎から丁寧に教えます。「これは国語の先生がやることでしょ」といって多くの英語の授業でカットされる部分ですが、小学校ならともかく、中高の国語ではこんなことは全然やらない。結果として多くの中高生が、自分の意見を発信するのが苦手という状況に陥っています。（日本語でもいいから言ってみ！と言っても意見が出ないことがポイントです。）ここを体系的に学ぶことで、ネイティブパートの受け方が変わってきます。自分の意見をどんどん言えるようになってきます。このサイクルができれば、あとは実践あるのみです。

TOEFL型学習を英語学習の中心に据える

TOEFLは難しいから中学生にはまだ早い、などという人がいますが、TOEFLが測っている英語力とは、端的に言うと、アカデミックな領域で相手が英語で書いたことや話したことの要旨を正確に把握できるか、そして的を射た簡潔な回答を英語でアウトプットできるかということです。これは、**大学入試に向けて英語を学習する意義そのもの**であり、これこそが目指すべき境地です。難しいと感じるなら、必死で単語を覚えてみたらどうなるか…必死で音読を繰り返してみたらどうなるか…こういう姿勢の一つ一つが屈強な英語力を育みます。成功を掴んだ偉大な先輩方は耐えました。あなたは？



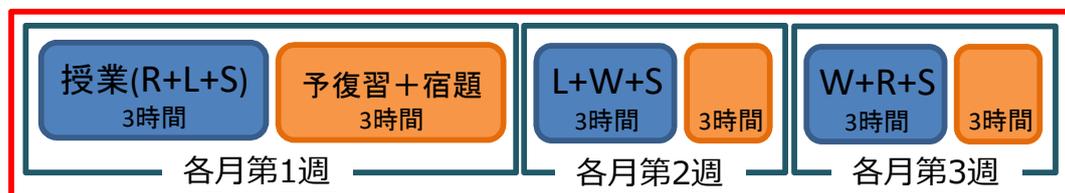
海外大進学に興味がある高校生諸君、および保護者の方々へ

学校の成績(GPA)も課外活動もエッセイも全て海外の大学に挑戦できる水準なのに、英語のスコアが足りず、高3の途中で海外大挑戦を断念という例をこれまで何度も見てきました。こういう人は、その後国内大の受験に切り替える訳ですが、純粋な学力勝負では他の受験生に競り負けて残念な結果に終わることが多いです。逆に、英語のスコアメイクがうまくできた側の人は、1/1に海外大の出願を終えた後からの追い込みだけで東京大学を受験して合格をとってきます。**ネイティブ並みの英語力を持ち、学校の勉強は完璧にこなしてきた子**にとっては、これくらいの時間があれば「十分ではないけど何とかできる」のだとか。その後、本命の海外大からも合格のオファーが届き、東大に半年だけ通った後、海外大へと旅立っていきます。断念組とダブル合格組の間に、英語力以外の差はありませんでした。要するに、**英語ができないのに海外大を目指す気持ちだけが強いのは危険!** まずは英語力からです。

屈強な知性を育むRoute H プロデュースのTOEFL®対策講座

TOEFL iBT®テストは、3時間超の長丁場で、かつ非常に難易度の高い文章に立ち向かわなければなりませんので、単純な英語力のみならず、**集中力を持続させられる知的スタミナ**が要求されます。3時間という授業時間は、実際のテストに近い時間、集中力を持続させる習慣をつけさせる目的で設定しています。

毎回の授業はリーディング、リスニング、ライティングの3技能のうち2つとスピーキングを組み合わせた構成で、**バランスのよい4技能トレーニング**ができるようデザインされています。また、受講生には授業時間と同等の学習時間を自宅で確保してもらえだけの課題を毎週出されます。課題の提出は任意なので、スコアメイクの期限が遠い未来の場合には、授業で扱われるものだけに集中することで、負荷が調整できるようになっています。



× **12**ヶ月

(その他に、季節講習があります。)

もちろん個人差がありますが、CEFRのグレードを1つ(TOEFLの点数でいうと20~30点)あげるためには、**100時間**の集中した学習が必要といわれます。ルートHグループのTOEFL対策講座では、**授業のみに集中した場合**には**1年**、**課題までをしっかりとこなした場合**には**半年**で、累積学習時間が100時間になるように設定されています。

尚、授業は全て、ネイティブ講師が**All in English**で実施します。**授業を受けることそのものがリスニング対策**になり、**日本語を介在させずに英語を英語のまま理解する**という思考習慣が身につきます。

TOEFLとSAT、そしてエッセイについて

TOEFL iBT®テストで90-100点(LR満点)の点数が安定的に取れるようになったら、SATの英語にチャレンジです。SATは技能としてはリーディングだけなのですが、難易度はTOEFLとは桁違いです。TOEFLは15,000語レベルの語彙力で十分対応できますが、**SATの高得点のためには30,000語レベルの語彙力**が必要です。また、解答と根拠をペアで答える問題など、フィーリングで対処できない問題が多く、**TOEFL以上に合理的な読解が必要**になります。エッセイについては、自分なりに書き始める前に、**「よい」エッセイとはどういうものであるか**ということについての研究が必要です。海外大学進学講座(Ⅲ)では模範的なエッセイを研究を通じて、**エッセイライティングの「型」**を身につけていきます。典型的なアプリケーション・プロンプトの紹介やポイントアドバイスも授業内で実施します。

海外大受験のサポートについて

海外大進学に圧倒的な実績を誇るベネッセRouteHとコラボレーションで、海外大学の受験を徹底サポートします。アイデア出しから一緒に行う「個別指導」と、完成物にフィードバックを実施する「添削指導」があります。

研伸館・海外大学進学講座：個別・添削系講座ラインナップ

1 on 1 Tutorial: 個別指導

※外国人専任講師(もしくは日本人+外国人のチーム)が担当。

1 on 1 Counseling: 個別指導

※日本人専任講師が担当。追加は1回あたり¥10,000で可。

Common Application Personal Essay: 添削指導

Supplement Essay: 添削指導

UCAS Personal Statement: 添削指導

UC Essay: 添削指導

UBC/Toronto Essay: 添削指導

奨学金出願書類: 添削指導

対象目安

TOEFL80

レベルフリー

受験生

受験生

受験生

受験生

受験生

受験生

時間

90分/週

60分/週

1エッセイ

1大学

1エッセイ

4エッセイ

1大学

2団体まで

価格(税込)

¥62,700

¥33,000

¥44,000

¥33,000

¥44,000

¥44,000

¥33,000

¥60,500

★添削指導については、それぞれ、

1stドラフト→添削

→2ndドラフト→添削

→Finalドラフト→確認

の「3往復」のやり取

を想定しています。

それ以上のやりとりが

必要な場合には、別に

定める追加料金を頂く

場合があります。

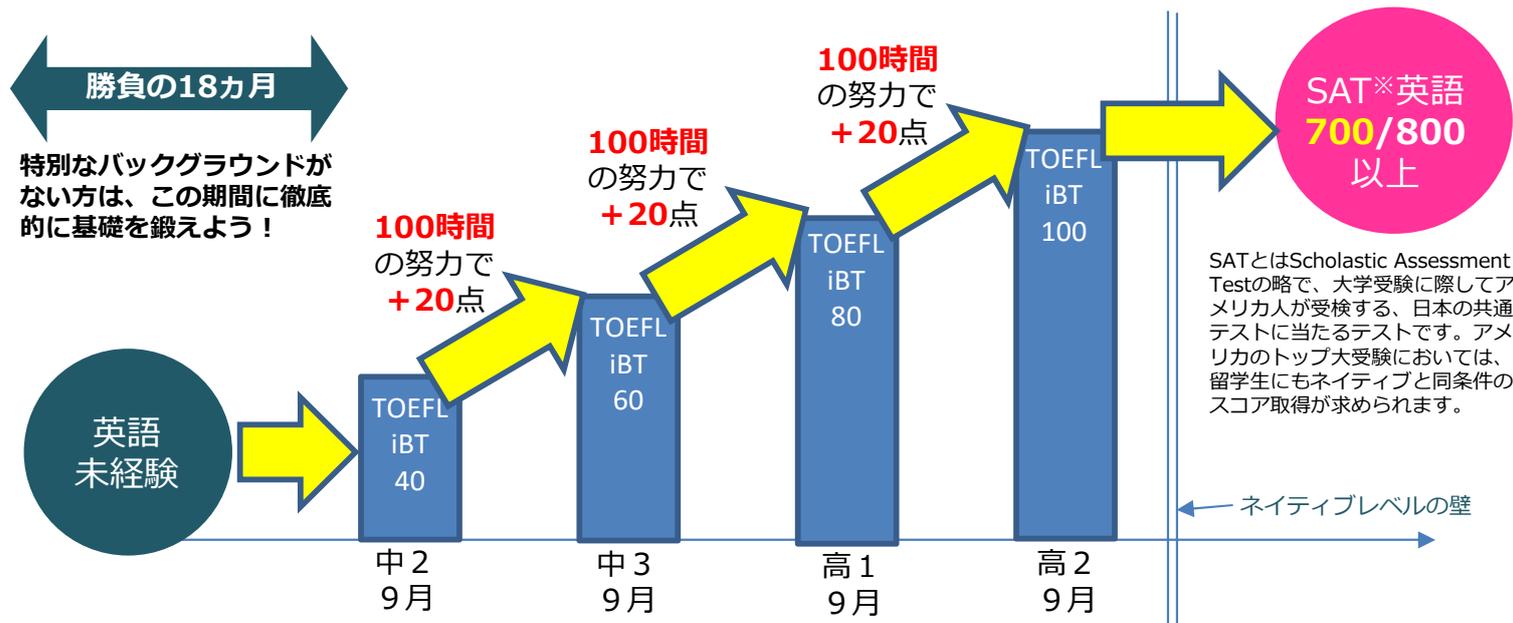
この春、新たに中学生になる生徒諸君、および保護者の方々へ

日本企業が世界の至上を席卷していた時代ははるか遠い昔の話となり、現在では日本の国力の衰退があらゆるところで顕在化しています。こんな世の中なので、**世界で通用する人材を目指して、海外の大学に学部から進学する**というトレンドが、首都圏を中心に盛り上がりつつあるということは、特に驚くべきことではありません。関西でも、トップ私立高校から毎年数名ずつ、英米のトップ大学に進学する子が出てきました。さて、そういう進路を描く際、日本人にとって最大のネックとなるのが英語力です。英米のトップ大への進学には**ネイティブレベルのアカデミックな英語力**を持つことが前提となります。ですから、英米のトップ大に進学している人の多くを、幼少の時、海外での生活経験があったり、インターナショナル小学校で、英語を公用語とした6年間を過ごしてきたという特別な環境に恵まれた子が占めているというのが実情ではあります。しかし、中には、中学入学後にABCから学び始めて、6年後にはネイティブをしのぐ英語力をもって海外のトップ大に進学していった先輩たちもいます。つまり、海外大の学部への進学ということを考える場合、中学生になる前のこの段階であれば、本人のやる気さえあれば、**全員にそのチャンスがある**ということになります。

中学以降の地道で適切な学習で英語力をネイティブレベルに高め、英米のトップ大への合格を掴んだ先輩たちのほとんどが、東京大学を併願し、合格しています。つまり、海外のトップ大にいこうという意識で、早めから英語力をビルドアップしておくことは、最終的な**進路が国内大になるとしても、素晴らしいアドバンテージ**になるということです。中学受験が終わって一息つきたいところだと思いますが、未来に向けて、今から歩きはじめましょう。

英語力から見る海外トップ大合格へのロードマップ

- ①海外トップ大を目指すまでのスタートラインに立つための努力
- ②平均3年に及ぶTOEFLのスコアメイクのための努力
- ③ネイティブレベルを超える英語力を身につけるための努力



TOEFL iBT®の40点というのは、概ね英検®の準2～2級に当たります。中学入学段階において、小学校の英語の授業レベル以上のことを全くできていない人であっても、最初の18カ月に**中学受験を戦った時のような熱量**で英語をしっかりと勉強してもらえれば、ネイティブレベルの英語力に至るためのスタート地点に立てるということになります。

■英語を本格的に学ぶのはこれからという方



グローバル選抜G+I クラスをお勧めします。

※本来、英検3級レベルの受講資格が必要ですが、研伸館中学生課程の入学選抜試験で選抜S+の判定が出れば受講可能です。

■既に英検準2級レベル以上に至っている方、または帰国子女やインターナショナルスクールの卒業生の方



グローバル選抜G+II クラス、又は**グローバル選抜G+III** クラスをお勧めします。

※英検®準2級取得済ならG+II、2級～準1級取得済ならG+IIIが最適なクラスです。Duolingo® やVersant®など安価ですぐに受験できるテストの結果も採用しますので、これまで検定試験を一切受けられたことがない方は、これらの受験をご検討ください。